

## ナシの作況について(7月29日分)

農技研果樹担当

### 1 生育状況等

- (1)「無処理幸水」満開後 100 日の肥大状況は平年と比べ- 3.0 日であったが、110 日では、- 2.8 日となり、果実肥大は回復傾向。GA 処理幸水は少量ではあるが、日焼け果等の果実の収穫が始まった。7 月上中旬に果実肥大が停滞したが、平均横径は 94~97 mmとなっており、概ね平年並みとなった。
- (2)「豊水」の果実肥大はやや鈍化傾向。
- (3)「彩玉」の満開後 100 日における平年比は+1.6 日であったが、110 日では、+1.3 日となり、果実肥大はやや鈍化。他品種と比べ葉焼け症状、ハダニ類の発生が多い傾向。
- (4)「あきづき」の果実肥大は、停滞傾向。軸折れやや多い。

### 2 病虫害の発生状況

仕上げのダニ剤散布により、ハダニ類の発生は小康状態となった。これから幸水の本格的な収穫に入るが、ハダニ類の発消長には常に注意し、ハダニ類が増えるようであれば、気門封鎖剤を連用する予定。

カメムシ類の発生が多いという地域があるため、シンクイムシ類と合わせた防除を行う予定。

### 3 早生品種の収穫

「筑水」の収穫を行った。糖度は 12 度後半から 13 度と平年並みであった。

「蒼月(旧系統名:筑波 59 号)」の収穫を行った。糖度は 13 度程度。大きさは平均 400g 程度であるが、大きい果実では 500g に達するものがあった。

「GA 幸水」の収穫が始まった。大きさは平年並み、糖度は 11 度後半から 12 度とやや低い出だしとなっている。